

主宰作品

染谷秀雄

落椿

待春の厨の窓をすこし開け
薄氷のまはりの水に流れあり
おほかたは散りたる梅になほ荅
せせらぎの流るる中を菖蒲の芽
いづくへと水の流るる露の臺
手の届く橋の袂の夕桜
てのひらに載せてつめたき落椿
蝶巡り来て大根の花影に
連翹の道に溢るる籬かな
包丁を研ぐつばくらを聞き流し